

仙台市立住吉台中学校における登校に不安や悩みがある生徒・保護者への支援について

令和6年7月12日

校長 大沼 良介

住吉台中学校では、「不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮すること」を前提に、全校生徒に「社会的な自立に向けた支援」を実施するに当たって、全ての生徒に学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることを目指し、以下の内容に取り組めます。

- 1 登校することに不安や悩みがある生徒に寄り添い、また、保護者の皆様と協力し、教育相談や学びの継続、校内の居場所づくりに努めるとともに、学校以外の学びの場とも連携し、支援を行います。
- 2 生徒や保護者で不安や悩みを感じている際は、教員（学級担任に限りません）のほか、校長・教頭、養護教諭、スクールカウンセラーなどが相談支援を行います。連絡アプリ（まなびポケット）や連絡帳、お手紙でも構いません。御希望に応じて、お話のしやすい場所や時間、学校の出席者を調整します。
- 3 相談について、次のような準備をしています。
 - ◆学校で行う生徒との教育相談：毎年7月に生徒・保護者・担任との三者面談を、11月には生徒と担任の二者面談（3年生は保護者を含めて三者面談）を行っていますが、それ以外の日でも相談することができますので、いつでも御相談ください。
 - ◆スクールカウンセラー：毎週火曜日に来ています。相談時間の予約が必要です。直接電話でご連絡（376-6140）やカウンセリングルーム前のポストに予約カードを投函することで予約が可能です。学級担任へ伝えていただいてもかまいません。
 - ◆教職員の研修：不安や悩みを抱える生徒の理解や相談能力の向上を図っています。また、学校で行うことができる支援策や学校以外の場での支援内容などの情報を、いつでも提供できるよう備えています。
 - ◆教職員間の情報共有：生徒が抱える不安や悩みの状況を関係する教職員の間で共有し、的確な支援が行えるようにしています。
- 4 支援について、次のような準備をしています。
 - ◆在籍学級以外の居場所：在籍学級に入りにくさを感じている場合の居場所として、別室を用意しています。別室では、各時間、教員が在室し、生徒への対応を行います。生徒は自分のペースで学習を進めることができます。
 - ◆オンラインでの学習参加等：学習用端末（クロームブック）や自宅のパソコンなどを通じて、オンラインで授業や学級活動に参加したり、その様子を見たりすることができます。

- 5 生徒が安心して学ぶことができるように、学校外施設とも連携しながら、支援を行います。主な学校外施設は「仙台市教育支援センター」のWebページにまとめてあります。教育支援センターのアドレスは以下のとおりです。

（「教育支援センター」 <https://sites.google.com/g.sendai-c.ed.jp/jiyu> ）

住吉台中学校は、これからも、教職員が一丸となって、登校に悩みがある生徒が安心して学べる場所を工夫・提供していきます。御相談は、住吉台中学校職員室（376-5138）までお願いします。